



氏名 かた やま 片山 なつ (39歳)
現職 千葉大学大学院理学研究院
日本学術振興会特別研究員 (RPD)

植物における極限環境への適応進化と多様化に関する研究

業績 生物多様性を理解するには、生物の進化に関わる発現制御や生理反応、生態的要因、遺伝的背景など、複雑に絡み合う複数の要因を紐解くことが必要となる。

氏は、従来の解剖学的研究では解明できなかった水生被子植物カワゴケソウ科植物の特異なボディプランの進化過程を、当時最先端であった野生植物における遺伝子発現解析を行なうことで解明した。さらに、分野横断的に分子進化学的解析と集団遺伝学的解析を行ない、高い突然変異率と生育環境の地理的隔離という本科植物のもつ進化可能性の高さを示すに至った。成果は国際的に評価の高い雑誌に掲載されている。

本研究成果は、生物の進化や多様性分野に関する基礎研究における成果であり、生物多様性の理解は環境問題や社会課題の解決に繋がると期待される。

主要論文 : 「Expression of *SHOOT MERISTEMLESS*, *WUSCHEL*, and *ASYMMETRIC LEAVES1* homologs in the shoots of Podostemaceae: implications for the evolution of novel shoot organogenesis」 Plant Cell 誌、vol.22、p2131 ~ 2140、2010年発表
「Elevated mutation rates underlie the evolution of the aquatic plant family Podostemaceae」 Communications Biology 誌、vol.5、75、2022年発表